

犯罪・人身交通事故・火災の発生状況

令和7年5月末の統計値(暫定値)です

刑法犯認知状況

5市合計 **1074件**(前年比 **-0.09%**)

筑紫地区全体では、前年に比べ減少していますが、自転車盗が292件(前年比+50件)、不同意わいせつ等が13件(前年比+6件)と増加しています。自転車は必ず防犯登録をして、鍵はツーロックにしましょう。また、夜間外出時の「ながら」歩きは非常に危険です。危険時に役立つ防犯ブザーを携行しましょう。

人身交通事故発生状況

5市合計 **640件**(前年比 **-12.4%**)

筑紫地区全体では、前年に比べ交通事故発生件数は減少していますが、交通死亡事故死者数が4件(前年比+2件)、高齢者関連事故での死者数が2件(前年比+2件)と増加しており、厳しい交通情勢となっています。一人ひとりが交通ルールをしっかりと守り、交通事故の加害者、被害者にならないように注意しましょう。

火災発生状況

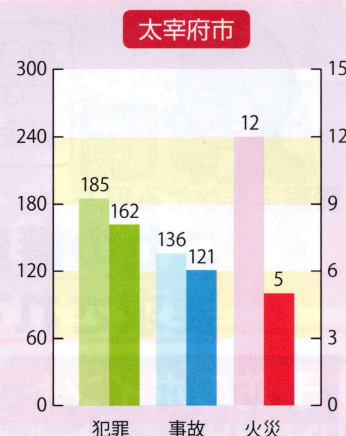
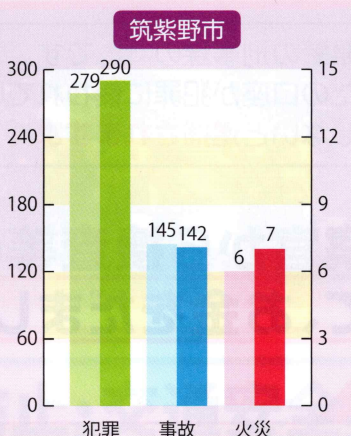
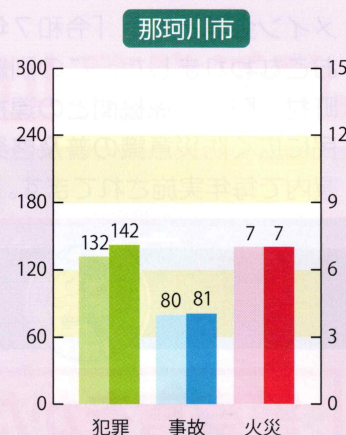
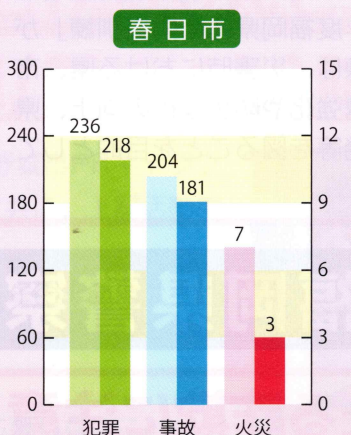
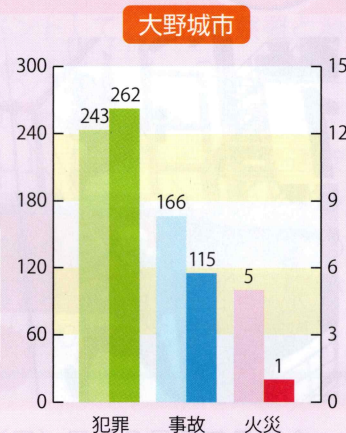
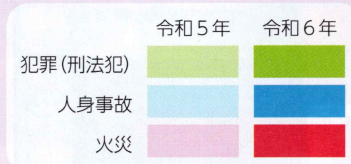
5市合計 **23件**(前年比 **-37.8%**)

筑紫地区全体では、前年に比べ火災発生件数は14件減少しています。

梅雨に入り大雨による被害への備えも必要になる一方で、雨季の季節も火災が発生します。

特に家電製品などの電気を使用する場面で多く発生しています。差しっぱなしのコンセントとプラグの間にホコリは溜まっていますか。トラッキング現象による火災を防ぎましょう。

地区別発生件数 昨年比較



事務局からのお知らせ

2025年度全国統一防火標語

「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

電話でお金はすべて詐欺！
すぐに相談！110番

防犯動画「ニセ電話んわわん」
Youtubeにて好評配信中



福岡県から
飲酒運転を
なくしましょう！

県下では飲酒運転による交通事故発生件数はわずかながら減少傾向ではありますが、飲酒運転の検挙件数については、前年から大きく増加しています。

自転車の飲酒運転も検挙対象です。飲酒運転は犯罪です。

飲酒運転をした本人だけでなく、これから車や自転車を運転する人にお酒を飲ませること、お酒を飲んだ人やこれからお酒を飲む人に車や自転車を貸すことも同じく犯罪です。